

ホットな石和温泉エリア 再開発と注目のイベント

豊かな自然環境がはぐくむ桃やぶどうの美味しい農作物に加えて、温泉を楽しむこともできる苗吹市。玄関口となる石和温泉駅の改修事も済み、春の行楽シーズンに向けて駅周辺エリアが今後ますます盛り上がることが予想されます。

そんな中、今回ピグレ編集部が注目したのは、「石和温泉Water Side Market」というイベント。さくら温泉通りの中央ウッドデッキを舞台に、食べものや雑貨などさまざまなお店がならび、ふらりと散歩ついでに賑わいを味わうことができるイベントです。

「石和温泉Water Side Market」

は、昨年8月に第一回が開催され、次回(3月28日〜4月4日まで)で3回目。「次回が山場です」と話す主催の「石和温泉Water Side Market」実行委員会。まだ開始して1年に満たない歴史の浅いイベントではありますが、イベント立ち上げまでにはどんな思いや苦労があり、また、この「石和温泉Water Side Market」をとおして、どのように地域を盛り上げていきたいのか、思いを伺いました。

「場所がもったいない」 場を再活用して地域活性化を

「きっかけは本当にたわいもない仲間うちの会話からでした。河口湖の方のフリーマーケットイベントに参加し、県内外から多くの人が集まって盛り上がる様

子を見ていたら、自分たちの地元にもこんな場を設けたいと思いました。とくに、石和温泉駅からすぐの石和温泉郷エリア。駅の整備もすみましたし、県内の人はもちろん、県外の人が山梨の魅力を感じていただくのに適した場所だと思った。なかでもウッドデッキのあるさくら温泉通りの雰囲気は私たちがとても気に入っていました。そこで、この場をいかして地域を盛り上げられるイベントをしようと「一念発起し、さくら温泉通り会さんに場所をお借りすることになりました。これが昨年の6月頃のことです」

こう話すのは、石和温泉Water Side Market 実行委員会代表。とくに時間がなかった初回開催までには、都内のイベント会社の協力をお借りしたり、出店者を募ったりと、奔走したといいます。とくに大変だったことを伺うと、「出店者を募ること

お花見&そぞろ歩きを愉しもう

石和温泉 Water Side Market

お問い合わせ先 石和温泉 Water Side Market 実行委員会
090-4930-3625 (久保川)

季節が近づいてきました。さて「今年はどこに花見に行こうか」と、考えている人も多いはず。そこで今月は石和温泉Water Side Market」はお花見と食のそ元知でしたか？

寒さも徐々にやわらぎ、まもなく春。今年も桜の季節が近づいてきました。さて「今年はどこに花見に行こうか」と、考えている人も多いはず。そこで今月は石和温泉Water Side Market」はお花見と食のそ元知でしたか？

とイベントの告知」と即答。数日間にわたって開催するイベントにするため、平日に何日も店を構えてくれる出店者が必要だったこと、イベント告知は文字通り「みずからの足を使って、実行委員会の有志で手作りしたチラシを各家のポストにポストインに回った」といいます。

「初回は初開催のわりに手応えを感じられる結果でした。全期間とおして人手もよく、訪れてくださった方も、出店してくださった方も双方にたくさん笑顔がみられた。次回はよりよくしようと思いました」

2回目は10月に開催。「ものを売るだけでは飽きられてしまう。地域貢献にはまだ一歩足りない」と実行委員会が話し合い、2回目は福祉施設に声をかけ、施設の生徒さんとの交流の場を持つ場にしようとする。肌寒い季節ということもあり、期待したほどの人手はなかったのですが、イベントを通して施

設の職員の方と生徒さんの楽しそうな顔を見ることができ、またそういう場をつくっていくことの大切さを改めて感じられたといいます。

「ありがとう」がモチベーション 地元で長く続くイベントに

3月28日から約1週間にわたっての開催を予定している第3回石和温泉Water Side Market。代表は「次回が山場」といいますが、それはこのイベントを始めたきっかけに桜に対する思いがあったからだといいます。

「この温泉街のエリアでみる桜が本当にきれいなのです。しかし、とんだ外に出る人が減ってせっかくウッドデッキがあるなど雰囲気もいいのにうまく活用されていないと感じていた。だから、桜と地元温泉街の

雰囲気と、人との関わり方の3つを同時に楽しめる場を考えたのです。イベント開催時期に桜が見頃を迎えるかというのは、もちろん誰にもわかりませんがね」

イベントにならぶのは、なかなか県内では出会えない目新しい商品やおいしいフード。「いい場所で、いいモノ」といい人に出会ってほしい」と実行委員会は話します。

「まだまだ若いイベントなので色々な悩みもあって、難しいことはわかり。でも『こういうのをやってみて有り難い』とか賑やかでいいね」と地元の人に声をかけて頂けるととても嬉しく、やり甲斐になっています。Water Side Marketをきっかけに、地元の人々が地元をより楽しめるようになったり、市で開催するほかのイベントのつながりができるようになったりしてきましたね」

温泉街と桜は相性抜群。陽気のいい春の日にはふらりお花見がてら地元の賑わいを感じてみませんか？

GO!

